室町時代



長船前磯上に、「武士の麓」だった堀城跡があります。 ここには、現在、建物はたっていませんが、麓を敵から寺 るための堀や土塁がよく残っています。

ででいません。この辺りを支配していた武士の頭領が住んでいたことでしょう。

現地の説明パネルには、地元の方が、当時の様子を想像

してつくった復元図が描かれています。これを参考にして、武士の時代に思いをはせてみてはどうでしょうか。



山 堀城跡

戦国・安土桃山時代

経 王山本蓮寺



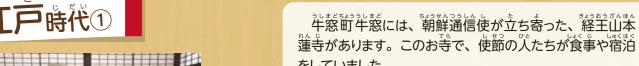
戦国時代の邑久出身で、宇喜多道家という武将がいました。

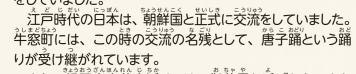
でです。 ・ では、対象を働かせて、周りの武将を次々と働し、領 ・ 地を広げていきました。そして、現在の岡山城や表町の辺 りに城下町をつくりました。

できない。 動から攻められにくくなっています。 います。 山の頂上の本丸に 登ると、美しい千町平野を 見渡すことができます。



₩ 低石城跡





また、経工山本蓮寺近くには、御茶屋と呼ばれた、もう一つの朝鮮通信使の接待所の跡も残っています。

+窓海遊文化館では、朝鮮通信使のことを楽しく学ぶことができます。

経王山本蓮寺

中窓海遊文化館

P 御茶屋跡

江戸時代2



江戸時代に、杉田安旨と前野良派らは、オランダの「ターヘルアナトミア」という医学書を約3年毕かけて翻訳し、「解体新書」として出版しました。この頃は、人間の体内を正確に警した医学書は日本にはなく、これにより、日本の医学は大いに進歩しました。

当時の医学の進歩の跡が、瀬戸内市でも見られるなん て、すごいことですね。

中島医家資料館

明治時代



にちるせんそう 日露戦争 ぐんい ぐんぷく 軍医の軍服

明治時代に、日本は大きな戦争を二度行いました。

その一つが自露戦争です。1904年から1905年にかけて大国ロシアと戦った日本は、大きな犠牲をはらいながらも、日本海の海戦や奉天の戦いなどで勝利しました。これにより、国際的な地位が高まり、本平等条約が改正されることにつながりました。

・ 中島医家資料館

大正時代



邑久町本住には、竹久夢上が生まれ、16歳まですごした茅葺屋根の家(第:夢上生家記念館)が残されています。また、近くには、夢上が自分で設計し、東京に建てたアトリエ兼怪居「少年近社」が復先されています。夢上の唯一の建築作品と言えます。

夢二が生きた大正時代には、多くの雑誌が創刊され、 夢二の挿絵が若い女性の間で大変人気になりました。

こちらの夢上生家記念館や少年前荘では、大正時代に タイムスリップした気分になって、夢二の素敵な絵画を 鑑賞することができます。

® 夢二郷土美術館

夢二郷土美術館

□ 夢二生家記念館・少年山荘